

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
- 目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水を飲ませる。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
- 回収、中和 : 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - 技術的対策 : 皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
 - 注意事項 : みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。
- 保管
 - 適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。
 - 安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度
 - 日本産業衛生学会（2016年度版） : 設定されていない
 - ACGIH（2015年度版） : 設定されていない
- 保護具
 - 呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防じんマスクを着用する
 - 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
 - 眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : 粉末
- 色 : 白色
- 臭い : 無臭

- ： 区分外
 ラットを用いた混餌(1.25, 2.5, 5 %)投与による3ヶ月間の反復投与試験において、検体投与に起因する毒性学的影響は認められなかった。
- 吸引性呼吸器有害性 : データ不足のため分類できない
12. 環境影響情報
- 生態毒性
- 魚毒性 : 水生毒性 (急性) : データ不足のため分類できない
 水生毒性 (慢性) : データ不足のため分類できない
- 残留性/分解性 : データなし
- 生体蓄積性 : データなし
13. 廃棄上の注意
- 残余廃棄物 : 多量の水に溶解して、pHを中性に調整した後、下水に流す。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
- 容器 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。
14. 輸送上の注意
- 国内規制 適用法令なし
- 国連分類 : 分類基準に該当しない
- 輸送の特定の安全対策及び条件
 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。
15. 適用法令
- 化学物質管理促進法 : 非該当
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 労働安全衛生法 : 非該当
16. その他の情報
- 引用文献 有機化合物辞典、有機合成化学協会編、講談社 (1985)

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート(MSDS)と記載事項は同一です。